

令和5年度 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 実施要項

1. 事業の目的

- ・魚津の歴史ある農林水産業を「親子」で学び、未来への継承、魅力向上につなげる。
- ・市の特産品や生産加工品の産地を訪問し、生産者との交流および作業体験を通じて、魚津の風土で培われてきた農林水産業の「生業」を学び、体感する。
- ・体験を通じて得た知識や経験をもとに、農林水産業と直結する魚津の自然環境を学ぶとともに、地産地消の推進や地元愛の創出等を図る。

2. 事業の概要

- ・「くだもの」「やさい」「田んぼ」「木材」「さかな」を体験活動の5つのテーマとし、それぞれの体験コース（全7種類）について、年間を通じて1～3回実施する。
- ・夏と冬には、通年体験コースの登録者や当初申込時の希望者を対象とし、5本のテーマを組み合わせた特別体験会を行う。
- ・「親子」の体験を基本とし、体験会には必ず保護者が同伴（祖父母可）するものとする。
- ・対象学年は、小学校1～6年生とする。
- ・夏と冬の特別体験会では、家族で体験を分かち合えるよう兄弟姉妹の参加を認める。

3. 体験コース(通年)の内容（令和5年3月時点）

- ・体験会の日時や内容は、作物の生育状況や天候等で変更する可能性がある。
（日時が未定のものはおおよその時期を記載）
- ・開催日と時間は、土曜日の午前中（10時～正午）を基本とするが、体験内容により変更する場合がある。
（参加者へは体験日の約1か月前に具体的なスケジュール等を記載した案内文を送付）

【コースNo.1】 うおづのくだもの親子体験会 ～くだもの産地について学ぼう～

- <回数> 年3回
- <参加費> 3,000円
- <場所> りんご園地（六郎丸地内）、ぶどう園地（小川寺地内）
- <内容> （5月27日） りんご摘果作業体験
（8月上旬） ぶどう収穫・箱づめ体験
（11月25日） りんご収穫・選果作業・糖度計測体験

【コースNo.2】 うおづの6次産業化親子体験会 ～生産から加工・販売までの流れを学ぼう～

- <回数> 年3回
- <参加費> 3,000円
- <場所> ぶどう園地・さつまいも畑・（小川寺地内）
（株）丸八「KANATA WINERY」（天神野新地内）
（福）海望福社会「ぶどうの森工房」（小川寺地内）

- <内 容> (9月 2日) ワインぶどう収穫体験、ワイナリー施設内見学
 (10月 中旬) さつまいも収穫体験
 (12月 2日) さつまいも加工体験 (ほしいも・焼きいもづくり)

【コースNo.3】 うおづのやさい親子体験会 ～ハウス白ねぎについて学ぼう～

- <回 数> 年3回
 <参加費> 3,000円
 <場 所> 「ゆかり営農組合」白ねぎハウス (川縁地内)
 <内 容> (5月 6日) 白ねぎ種まき体験
 (7月 1日) 白ねぎ植えつけ体験
 (1月20日) 白ねぎ収穫・出荷作業体験

【コースNo.4】 うおづのやさい親子体験会 ～ハクサイとレンコンについて学ぼう～

- <回 数> 年3回
 <参加費> 3,000円
 <場 所> ハクサイ圃場 (有山地内)、レンコン圃場 (出地内)
 <内 容> (8月26日) ハクサイ種まき・苗うえ体験
 (10月 中旬) ハクサイ収穫体験
 (11月 中旬) レンコン収穫作業見学・選別・袋づめ体験

【コースNo.5】 うおづのたんぼ親子体験会 ～米づくりについて学ぼう～

- <回 数> 年3回
 <参加費> 3,000円
 <場 所> たんぼ (東山地内「東山円筒分水槽」付近) ほか
 <内 容> (5月 7日) 米づくりの説明、田植え体験
 (9月 中旬) 稲かり・収穫体験
 (11月 中旬) 収穫したお米 (こうじ) を使った「みそ」づくり体験

【コースNo.6】 うおづの木材親子体験会 ～地元産木材について学ぼう～

- <回 数> 年1回
 <参加費> 1,000円
 <場 所> 新川森林組合加工場 (石垣平地内) ほか
 <内 容> (10月 7日) 加工場見学・木工クラフト体験・間伐作業現場の見学 等

【コースNo.7】 うおづのさかな親子体験会 ～うおづの魚について学ぼう～

- <回 数> 年1回
 <参加費> 1,000円
 <場 所> おさかなランド (釈迦堂地内) 他
 <内 容> (11月11日) 魚津産地市場のセリ市体験・カニかご漁の説明 等
 ➡ 開始時間は朝5:30 予定

(その他・チャレンジ企画)

その1・夏の特別体験会 ～うおづの海・山・里の自然をオール体験！～

- <対 象> ・(1)～(7)の体験会に参加している親子。
 ・参加申込みの際、募集案内を希望した親子。
 ・上記親子の兄弟姉妹の参加も認める。
- <定 員> 60名予定
 ・対象者へは、別途募集案内を行う。
 ・応募多数の場合は抽選を行う。
- <開催日> 7月下旬 ※平日に開催予定
- <参加費> おとな1,000円、子ども500円、3歳未満無料 予定
- <内 容> ①黒鯛の放流体験…魚津港にて
 ②夏のくだもの見学・収穫体験…市内果樹園地予定
 ③昼食…片貝山ノ守キャンプ場にて
 ④魚津産木材を用いた工作体験…片貝山ノ守キャンプ場にて 予定

その2・冬の特別体験会 ～うおづの海・山・里のめぐみをオール体験！～

- <対 象> ・(1)～(7)の体験会に参加している親子。
 ・参加申込みの際、募集案内を希望した親子。
 ・上記親子の兄弟姉妹の参加も認める。
- <定 員> 40名予定
 ※対象者へは、別途募集案内を行う。
 ※応募多数の場合は抽選を行う。
- <開催日> 12月中旬 ※土曜日に開催予定
- <場 所> 魚津市片貝コミュニティセンター「毛勝の郷シェルピース」予定
- <参加費> おとな1,000円、子ども500円、3歳未満無料 予定
- <内 容> ①体験会で収穫したくだもの・野菜・お米を用いた調理体験
 ②魚津のさかなを用いた「すりみ」づくり
 ③魚津産木材を用いた工作体験 予定

4. 主催

魚津市役所 産業建設部 農林水産課

5. 募集内容 (通年体験コース)

(1) 募集期間

令和5年4月11日(火) 午前9時から4月20日(木) 午後5時まで

(2) 募集対象

- ・市内に在住の小学生の子ども1名とその保護者1名を1組とする親子
- ・各体験コースのすべての回に通年で参加可能な親子

(例：「うおづのくだもの親子体験会」を希望する場合、全3回に参加可能な親子)

(3) 募集定員

各体験コースのうち、No.1のくだものは親子15組、No.6の木材は親子20組、その他の5コースは、親子10組とする(合計85組170名)。

- ・各体験コースの参加者を一括して募集する
- ・参加者は、申込時に、7コースの中から第1希望を選択する。
また、二次抽選希望者は、第2・第3希望を選択する。
- ・応募多数の場合は抽選を行う。

(4) 参加費

各体験コースにより参加費を定める。

- ・年1回のコースは、親子1組1,000円、年3回のコースは、親子1組3,000円とする。
- ・参加費には、体験料、材料費、イベント保険代等を含める。
- ・参加費は、各コースの初回に全額支払うこととする。
- ・支払は、紙幣の他、ミラペイでも可能とする。

(5) 申込方法

オンラインでの申込とする(富山県電子申請サービスを利用)。

- ・参加者は、申込フォームにアクセスし、必要事項を入力し、送信手続を行う。
- ・申込の受付は「受付番号」を元に行うこととし、申込者とはメールでやりとりとする。
- ・郵送、FAX、電話、窓口での受付は行わない。

(6) 抽選

応募多数の場合、抽選を行う。

抽選結果は、令和5年4月24日(月)に発表する。

発表は、「受付番号」を元に、市HP上での公開及び申込者全員へのメール送信にて行う。

(抽選があった場合も、申込者全員に当落結果をメールで通知する。)

(7) 申込・問合せ先

魚津市役所 農林水産課 農産振興係

住 所：〒937-8555 魚津市釈迦堂1-10-1

電 話：0765-23-1034

FAX：0765-23-1053

メール：oyakotaiken@city.uozu.lg.jp

6. その他

- ・外での作業体験は、少雨決行、荒天中止とするが、作業内容および日付、時間は、作物の生育状況や天候等により事業協力先と事前に相談して決め、参加者へ連絡するものとする。
- ・体験会でのマスコミ等の取材・撮影については、魚津の農林水産業をPRし内外に発信する

にあたり許可するものであるので、あらかじめ参加者に理解を求める。

- 当日は、ケガ等の防止のため、参加者には動きやすい服装、帽子、長靴等の着用を求め、熱中症対策として飲み物の持参を求める。主催者側は、水分補給や休憩等の時間を適宜設けるなど、参加者の安全、体調管理に努める。
- 新型コロナウイルス感染症等の流行により、開催内容を変更する場合がある。また、必要に応じてマスクの持参・着用を求めるものとする。令和4年度に引き続き、会場での手指消毒、検温、健康チェックへの記入は行うものとし、当日 37.5 度以上の発熱や風邪の症状等がある場合は、参加を控えるようお願いすることとする。
- 体験会の各回でアンケートへの記入を行い、次の回や次年度への参考とする。
- 参加費は、各体験コースの年間分を初回に集めるものであるから、欠席があった場合の返金を行わない。なお、欠席者には、調整のうえ、体験時に配布した収穫物等の配布を行う。